



- ① 同社が手がけている鋼製橋梁上部。
- ② 納品された鋼材を部材にあわせて加工。大型カッターによる切断作業。
- ③ 大型の溶接ロボットも導入。
- ④ この日は駅舎の柱に使用される部材を製作していた。複雑な形状は、オートメーションと手作業により作られる。
- ⑤ オヤマダエンジニアリング本社。チップボイラーの開発と販売等を行う。
- ⑥ 津志田にあるオヤマダジャンボゴルフ。
- ⑦ 鉄柱の溶接作業。工場内では橋脚の耐震補強用の鋼材製作も行われていた。
- ⑧ 岩手型チップボイラー「エコモス」。保育所等公共施設への導入も順調。
- ⑨ 敷地内には容量40トンの防火タンク。
- ⑩ 安全第一を徹底して作業を遂行中。

# 「鉄」の

# 可能性を拡げ、故郷復興の原動力に

発信!!  
いわての  
力こぶ

【支援企業紹介】盛岡市  
株式会社小山田工業所



立ち並ぶビルや大型公共施設、そして交通インフラを支える橋梁。社会の近代化を象徴する建造物の基礎となる鋼構造物に、創業以来取り組んできた株式会社小山田工業所。技術力を磨く一方さまざまな分野への参入も果たしてきた同社は今、これまでのノウハウを駆使し、震災で痛手を受けた故郷の再生に向きあっている。

## スタートは10坪の溶接工場 鉄構工事で岩手の近代化を拓く

戦後からの復興そして高度経済成長へと、日本発展の礎を築き上げてきた製造業。盛岡市に本社を置く株式会社小山田工業所もまた、ビルや大型公共施設、橋梁をはじめとするさまざまな大型鉄骨構造物の製作・建設を通し、岩手県の近代化へと大きな貢献を果たしてきた企業である。

創業は昭和23年。わずか10坪の溶接工場から始まったが、新分野のボイラ製造をきっかけに事業を拡大、高度成長にともなう鉄道関連工事で本格的に鉄構分野へ着手する。同38年には市内飯岡に広大な工場を建設、翌年には橋梁部門が独立し数

多くの橋梁架設工事を手がけるように。当時の岩手は東北新幹線計画が始動し、岩手国体の開催に沸いていた頃。市内大通には同社が鉄骨を手がけた7階建の「金属工業会館」が完成し、街並も劇的に変化していった。

躍進は続く。昭和51年には企業仲間と進めてきた盛岡工業団地（盛岡市玉山区）が完成し、飯岡工場から移転。平成に入ると飯岡工場跡地にオヤマダジャンボゴルフ場が完成し、一方のボイラ事業部はオヤマダエンジニアリングとして独立した。

盛岡市アイスアリーナ、滝沢村の岩手県産業文化センター・アピオ、そして盛岡市の東大橋や南大橋をはじめとする県内外のさまざまな橋梁…。これらも、同社の手がけ

た工事のほんの一例なのである。

## チップボイラー開発と震災から 見えてきた、新しい可能性

「鉄」のスペシャリストとして歩み続けて60余年。主力事業は建築鉄骨や鋼製橋梁上部の製作施工、ボイラ等機械器具の製作に、近年はチップボイラーの設計製作が加わった。平成15年から県工業技術センター等と共同で開発に着手し、同17年に発売開始となった岩手型チップボイラー「エコモス」である。「当社はボイラ製造から始まった企業。昭和時代には廃タイヤ等産業廃棄物の燃焼開発にも取り組んでおり、積み重ねてきたノウハウを生かした」と、代表取締役社長の小山田浩之さんは話す。

それだけではない。平成9年からは鋼製の防火タンク事業へも本格参入し、県内外に設置を進めていた。その最中に起きたのが東日本大震災だったが、沿岸のタンクへ

の被害は全くなく、さらに福島第一原発の放射能汚染水プール用に34基のタンクを製作した。これらを踏まえ、小山田社長は飲料水タンクへの展望を描く。「飲料水タンクのニーズは神戸の震災時に生まれている。当社も製造から設置まで一貫して取り組めればと思います」。防火・飲料水タンク、そして石油燃料を使わないチップボイラー。同社の技術は、防災や環境という新たな分野へも広がっているのだ。

沿岸では今、震災に遭った橋梁の復旧と補強工事が急ピッチで進められている。同社も大手橋梁メーカーの下、火災で変形した桁、損傷激しい橋脚…難工事の連続に取り組み、異例の早さで竣工を成し遂げている。根底にあるのは「早急にメインのインフラを再建する」という高いプロ意識だ。

「道路が出来た上で、ようやく新規のインフラ整備が始まる。事業は10年規模になるだろう」と小山田社長は前を見据える。故郷東北の再生へ、長い長い道程が続く。

我が社の  
力こぶ  
はコレ!

安心・安全を実現するため、  
あらゆる努力を

安心と安全の提供は企業として絶対条件。建築工事や橋梁架設、ボイラやタンク等の品質管理の徹底はもちろん、原価低減も大切と考え、産業振興センターの指導のもと5S活動ほか「工場管理実践塾」「工程改善研究会」にも参加しています。



代表取締役社長  
小山田 浩之

会社名 株式会社 小山田工業所  
本社 盛岡市本町通3丁目18番8号  
本電話 019-652-5111  
代表者 小山田浩之  
創業者 昭和23年10月  
従業員 74名  
業種 建設用金属製品(鉄骨・橋梁・鉄塔・鋼製タンク)製造、鋼製橋梁上部架設、他鋼構造物全般の施工 他